

明治乳業 株式会社 群馬工場

群馬県伊勢崎市



プロセス冷却

 拡
め
る

2017年(創業100周年)までのCO₂排出原単位30%削減を目指す



明治乳業 群馬工場

明治乳業株式会社は、日本を代表する食品メーカーであり、1917年の創業以来、牛乳・乳製品を基盤とした商品やサービスの提供を通じて、顧客の「健康」に寄与することをモットーに企業活動を展開している。

2009年4月には、一層の飛躍を目指し、明治製菓株式会社と経営統合し、「明治ホールディングス株式会社」を持株会社とする新生明治グループがスタートした。

78年に操業を開始した群馬工場では、牛乳・アイスクリームをはじめ医薬品を製造しており、加熱殺菌後の冷却工程には、操業時から蓄熱システムを採用している。

また、市場拡大を続ける病院や老人・福祉施設向け流動食事業の基幹工場として、08年には、同工場敷地内に群馬栄養食工場が新設された。ここでも、自然冷媒による蓄熱式冷水製造装置が採用され、合計8基の蓄熱システムにより、省エネ

ルギーならびにCO₂の排出抑制を実現している。

このように同社は、11年度を最終年とする中期経営計画において、環境経営を明確にし、さらに、07年を基準年とし「2017年(創業100周年)までにCO₂排出原単位30%削減」を目標に掲げさまざまな施策に取り組んでいる。

明治乳業(株) 群馬工場

- ・所在地：群馬県伊勢崎市長沼町1741-1
- ・延床面積：58,400㎡ ・竣工：2008年(増設)

群馬工場の蓄熱式冷水製造装置導入事例

- | | |
|-------|--|
| 1978年 | 熱源機容量：190kW〔三菱電機〕
蓄熱槽：130㎡(2007年に撤去) |
| 1997年 | (増設)熱源機容量：56kW x 2台〔三菱電機〕
蓄熱槽：42㎡ |
| 1998年 | (増設)熱源機容量：11kW x 2台、15kW x 2台
19kW x 2台〔東京冷化機〕、蓄熱槽：計44㎡ |
| 2000年 | (増設)熱源機容量：60kW x 2台〔東京冷化機〕
蓄熱槽：50㎡ |
| 2002年 | (増設)熱源機容量：37kW〔前川製作所〕
蓄熱槽：40㎡ |
| 2007年 | (更新)熱源機容量：110kW〔前川製作所〕
蓄熱槽：46㎡ |
| 2008年 | (増設)熱源機容量：110kW x 2台〔前川製作所〕、蓄熱槽：60㎡ |